

あのV9戦士・柴田勲の「我が栄光の巨人軍」

元巨人軍・柴田勲氏が講演

定期総会講演に法政二高で甲子園夏・春連覇、巨人軍で王、長嶋と共にV9を達成、スイッチヒッターとして赤い手袋で名を馳せ、盗塁王としても活躍した柴田勲さんをお招きし、興味あるお話を語って頂きました。内容は紙面の都合で要約させて頂きました。

司会は、山本富士哉同窓会理事、講師紹介は同級生の五明公男同窓会理事長。
(2013年7月13日の講演から)



講演する柴田氏

田丸監督に誘われて

私は、横浜の本牧で生まれ育ちました。中学の県大会でベストエイトになった時の審判が法政二高野球部の先輩で、法政二高の田丸さんに「柴田というピッチャー結構面白いよ」と言ってくれたそうです。

誘われて

1回戦、2回戦に勝ち、無我夢中で一生懸命やった。それで昭和35年の夏は優勝させてくれた。1回優勝しますと、自信がきます。無我夢中から今度は自信です。昭和36年春の大会は、優勝しました。チームにも絶対勝てるという自信があった。その自信で、夏・春連続優勝させてもらった。

長嶋さんに憧れて

縁があって、巨人軍にピッチャーで入団しました。勧誘してくれたのは川上監督でした。私は、高校野球では王さんに憧れて甲子園に行きたいと思ったのですが、プロに入ったなら、長嶋さんと一緒に野球やりたいと、長嶋さんに憧れて巨人軍に入りました。長嶋さんの国民栄誉賞。ホントに心から嬉しく思っております。あの長嶋さんに憧れて、巨人に入りました。

開幕先発で0勝2敗

オープン戦に入って、「投げろ」というので投げました。3勝0敗です。開幕で「おい柴田、巨人阪神戦の開幕の第2戦に行くぞ」と言われました。光栄だなー、開幕投手だよ私は。開幕戦、巨人・阪神戦、5回と3分の1投げて3対1で負けました。3点が3点でもホームラン打たれました。負け投手。試合終わって帰ってきたら、「柴田、お前球が軽い。しばらく投げなくていいぞ」と。開幕投手ですよ。開幕投手が「しばらく投げなくてもいいぞ」と、1回も投げさせてくれない。6月になり、「どうだ。そろそろバッテリーに転向しないか」と。開幕投手が1回しか投げさせてくれない。バッテリーに転向しないか。と。開幕投手もありません。私はピッチャーで、巨人のエースになりたくて入ってきたんですから、嫌です。」と言ったら、「そうか、嫌か。じゃしょうがないな。もうちょっと、好きなように投げとけ」とうですよ。

ところが、何とかしたところか、何とかなったか、7月になり、初めて一番バッテリーの子供に野球を

「お前スターティングメンバーで行くぞ」と、広島戦で初めて試合に出させてもらった。相手のピッチャーは長谷川良平さん。お年寄りの方は知っているでしょうが若い人は全く知らないと思います。この方からホームラン打ったんです。第二試合が、元静岡のピッチャーだった大石さんから連続ホームランを打たせてもらった。

それから、レギュラーにズッと座って、V9の一番バッテリーと言った。そのときの川上監督のことは、未だに残っています。なんと残ったと思います。「柴田、これで踏ん切りが良かったらう。」会場から笑い...

「お前スターティングメンバーで行くぞ」と、広島戦で初めて試合に出させてもらった。相手のピッチャーは長谷川良平さん。お年寄りの方は知っているでしょうが若い人は全く知らないと思います。この方からホームラン打ったんです。第二試合が、元静岡のピッチャーだった大石さんから連続ホームランを打たせてもらった。

それから、レギュラーにズッと座って、V9の一番バッテリーと言った。そのときの川上監督のことは、未だに残っています。なんと残ったと思います。「柴田、これで踏ん切りが良かったらう。」会場から笑い...

それから、レギュラーにズッと座って、V9の一番バッテリーと言った。そのときの川上監督のことは、未だに残っています。なんと残ったと思います。「柴田、これで踏ん切りが良かったらう。」会場から笑い...

それから、レギュラーにズッと座って、V9の一番バッテリーと言った。そのときの川上監督のことは、未だに残っています。なんと残ったと思います。「柴田、これで踏ん切りが良かったらう。」会場から笑い...

甲子園で夏・春連覇

甲子園で早実の王さんが活躍され優勝されたのをテレビで見て、甲子園の土を踏みたいという強い気持ちで野球部に入りました。

開幕で「おい柴田、巨人阪神戦の開幕の第2戦に行くぞ」と言われました。光栄だなー、開幕投手だよ私は。開幕戦、巨人・阪神戦、5回と3分の1投げて3対1で負けました。3点が3点でもホームラン打たれました。負け投手。試合終わって帰ってきたら、「柴田、お前球が軽い。しばらく投げなくていいぞ」と。開幕投手ですよ。開幕投手が「しばらく投げなくてもいいぞ」と、1回も投げさせてくれない。6月になり、「どうだ。そろそろバッテリーに転向しないか」と。開幕投手が1回しか投げさせてくれない。バッテリーに転向しないか。と。開幕投手もありません。私はピッチャーで、巨人のエースになりたくて入ってきたんですから、嫌です。」と言ったら、「そうか、嫌か。じゃしょうがないな。もうちょっと、好きなように投げとけ」とうですよ。

ところが、何とかしたところか、何とかなったか、7月になり、初めて一番バッテリーの子供に野球を

「お前スターティングメンバーで行くぞ」と、広島戦で初めて試合に出させてもらった。相手のピッチャーは長谷川良平さん。お年寄りの方は知っているでしょうが若い人は全く知らないと思います。この方からホームラン打ったんです。第二試合が、元静岡のピッチャーだった大石さんから連続ホームランを打たせてもらった。

それから、レギュラーにズッと座って、V9の一番バッテリーと言った。そのときの川上監督のことは、未だに残っています。なんと残ったと思います。「柴田、これで踏ん切りが良かったらう。」会場から笑い...

それから、レギュラーにズッと座って、V9の一番バッテリーと言った。そのときの川上監督のことは、未だに残っています。なんと残ったと思います。「柴田、これで踏ん切りが良かったらう。」会場から笑い...

それから、レギュラーにズッと座って、V9の一番バッテリーと言った。そのときの川上監督のことは、未だに残っています。なんと残ったと思います。「柴田、これで踏ん切りが良かったらう。」会場から笑い...

それから、レギュラーにズッと座って、V9の一番バッテリーと言った。そのときの川上監督のことは、未だに残っています。なんと残ったと思います。「柴田、これで踏ん切りが良かったらう。」会場から笑い...



司会の山本理事、五明理事長、柴田勲氏

連帯を感じた懇親会

柴田勲元巨人軍選手の講演で、関係団体と各部同窓会、定期総会も滞りなく終わりました。懇親会を開催しました。



五明理事長の挨拶に続き、来賓の法政大学校友連合会副会長・岡田安弘様、法政大学後援会相談役・渡邊秀雄様から祝辞を頂き、来賓として出席された関係団体と各部同窓会の方々をご紹介いたしました。引き続き、大島雄次同窓会顧問(明治安田生命特別顧問)に乾杯の音頭を取っていただき、皆様と声高らかに乾杯し、宴会に入りました。

「お前スターティングメンバーで行くぞ」と、広島戦で初めて試合に出させてもらった。相手のピッチャーは長谷川良平さん。お年寄りの方は知っているでしょうが若い人は全く知らないと思います。この方からホームラン打ったんです。第二試合が、元静岡のピッチャーだった大石さんから連続ホームランを打たせてもらった。

それから、レギュラーにズッと座って、V9の一番バッテリーと言った。そのときの川上監督のことは、未だに残っています。なんと残ったと思います。「柴田、これで踏ん切りが良かったらう。」会場から笑い...

それから、レギュラーにズッと座って、V9の一番バッテリーと言った。そのときの川上監督のことは、未だに残っています。なんと残ったと思います。「柴田、これで踏ん切りが良かったらう。」会場から笑い...

意欲・勇気

野球教室で、子供に「盗塁のコツを教えて」と質問される。「盗塁というのは、足が速い、スライディングが良い、スライディングが上手い、盗塁で成功するよ。足が遅いと成功しないよ。足が遅いと成功しないよ。足が遅いと成功しないよ。」私は子供に言うのです。「その後はね、やっぱ準備じゃないかな」と。

それから、レギュラーにズッと座って、V9の一番バッテリーと言った。そのときの川上監督のことは、未だに残っています。なんと残ったと思います。「柴田、これで踏ん切りが良かったらう。」会場から笑い...

それから、レギュラーにズッと座って、V9の一番バッテリーと言った。そのときの川上監督のことは、未だに残っています。なんと残ったと思います。「柴田、これで踏ん切りが良かったらう。」会場から笑い...

健康が第一

王さんがいつも言っていた。「俺はいろいろやってきたけど、なんと言ったって柴田、身体だよ。どんなに大きな目標を持ってやろうとしても、身体が丈夫じゃなげ響く...」

それから、レギュラーにズッと座って、V9の一番バッテリーと言った。そのときの川上監督のことは、未だに残っています。なんと残ったと思います。「柴田、これで踏ん切りが良かったらう。」会場から笑い...

それから、レギュラーにズッと座って、V9の一番バッテリーと言った。そのときの川上監督のことは、未だに残っています。なんと残ったと思います。「柴田、これで踏ん切りが良かったらう。」会場から笑い...

学期名の変更と秋入学

セメスター化

法学部長 廣瀬克哉



法政大学では、本年度より、学期の名称を「春学期」「秋学期」へと変更しました。従来「前期・後期」と呼んでいましたが、今年度よりグローバル教養学部で秋入学の制度が始まったこととともない、入学早々に後期から始まるのは名称として不適切なことから、季節による呼称に変更したものです。

秋入学については、昨年東京大学が全面秋入学への移行の検討を発表し、一躍注目を集めたものの、当面の結論としては見送ることになった件は、広く報道されました。法政大学では、総長直属で学部長会議メンバーが参加するプロジェクトとして秋入学研究会を設置し、検討を行ってき

ました。高等学校以下が4月から1化に踏み切る方針を先日の年度変更しないことを前提とすると、全面秋入学は現実的ではなく、今後も大多数の日本人学生が4月入学であり続けるだろうというのが「秋入学」についての判断と

の春学期に履修したゼミに来年度の秋学期に復帰し、来年度あわせて単位認定するなど、さまざまな便宜的方法をとらざるを得ませんでした。来年度からはそういうことなく、制度通りに学生を送り出し、迎え入れることができるようになりま

す。近年日本人の学生は留学期間も減っていると言われますが、法政の学生については、制度の上からも背中を押すような環境を整えていくことが大事だと考えています。

具体的には、授業を春学期、秋学期で完結させるセメスター制の徹底に向けていくことが確認されました。ほとんどの科目が通年で運営されていると、秋から1年間交換留学に赴いたような場合、最悪の場合2学年分の履修に影響が出てしまいます。海外の提携校から秋から半年間短期留学に来た学生に対して、これまでは一つの科目の後半だけで単位認定をするという変則的な対応もしていました。

法学部 教員紹介①

法律学科、政治学科、国際政治学科

教授会主任

細井 保教授

法学部政治学科



担当科目：政治体制論
政治構造論
一九九〇年法学部政治学科卒業、一九九七年大学院政治学専攻博士課程終了(政治学博士)

私は学部学生のときは、袖井林二郎先生の演習で歴史的に政治をみることを学びました。できる良い学生ではなかったのですが、当時は十分に理解できていなかったのですが、袖井先生の演習で

・Hカーの「歴史とは何か」やジョン・ダワーの「War without Mercy」の翻訳を読んだことは、歴史について思考することのきっかけとなりました。また飯田泰三先生の外国書購読で、ウィリアム・モリスについて学んだことは、広く思想史の世界の魅力に誘うものでした。くわえて非常勤でこれらに佐々木武先生と比較政治思想史の講義や、佐々木先生が担当された外国書購読で、シエルドン・ウォーリンの『政治学批判』に触れたことは、今日にいたるまで、政治学のある方を考えさせる起点となるものでした。大学院では、指導教授を松下圭一先生にお願いし、議会政治が適切に機能しなかった一つの事例として、一九二〇・三〇年代のオーストリア政治史について学位論文を書きました。また藤田省三先生の大学院での演習に参加できたことは、得難い経験となりました。その後、非常勤として、法学部政治学科にて教歴を積まさせていただきました。二〇〇六年より専任として奉職させていただきました。現在、政治体制論という科目を中心に講義を担当し、認識論の段階からかなり思弁的に政治・社会などについて考える一方で、学部長の広瀬先生など地方レベルでの議会政治の具体的な可能性についても研究を進めています。

教授会副主任

椽川 泰史教授

法学部法律学科



2011年4月に着任し、今年で3年目です。本学ではまだ新米の部類の教員なのですが、学部長のご指名により、本年度は法学部執行部に

加えていただいております。先だっの法学部同窓会の皆様との懇談会で

は、金子征史先生に「もう10年も前からいるみたいな様子だ」と冷やかされましたが、学部も大学院も本学の出身ではないので、教員の職に就いてからも本学には非常勤としてすらすらお世話になったことがないため、まだまだ本学の事情に疎く、本人の主観では、非常に遠慮しいしい副主任の仕事です。今年で3年目です。本学ではまだ新米の部類の教員なのですが、学部長のご指名により、本年度は法学部執行部に加えていただいております。先だっの法学部同窓会の皆様との懇談会で

市ヶ谷キャンパス 55・58年館 建替え

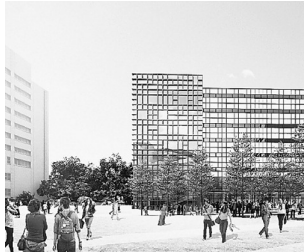
この建物を建替えるにあたり、そうした記憶、歴史をつなぐとともに、水と緑に恵まれた周辺環境と調和を保ち、キャンパス全体を一体的に利用可能とする建物配置や外構計画を策定しました。さらに、学習環境の変化や防災上の要請、スムーズな動線の確保等、様々な観点からの検討が現在も続いています。現在予定している建設計画では、順次2棟の校舎を建設します。



まず正門前の位置に大きな開口部を持つ仮称「ゲート棟」続いて現在の511教室の位置に仮称「南棟」が建設されます。各校舎は、竣工後ただちに新しい教室や食堂、学生ホール等として利用を開始します。55・58年館の解体は、新校舎によって施設が確保されること待って実施されます。

（以上、大学発表の文書から転載しました。）
建物の規模
仮称「ゲート棟」
地上7階、地下2階、延床面積11,000㎡
2016年着工
仮称「南棟」
地上9階、地下1階、延床面積11,000㎡
2016年着工

新司法試験結果
前年を上回る
平成25年度司法試験の合格者が9月10日、法務省から発表されました。合計合格者は、昨年より53人少ない2049人でした。本学法科大学院の合格者は30



右・ゲート棟イメージ図
左・中庭外観図(左・80年館、大内山庭園、中央・南棟、右・ゲート棟)

順	法科大学院	受験者数	合格者数
1	慶應義塾大学	354	201
2	東京大学	357	197
3	早稲田大学	479	184
4	中央大学	442	177
5	京都大学	246	129
6	予備試験	167	120
7	一橋大学	123	67
8	明治大学	354	65
9	大阪大学	140	51
10	北海道大学	150	50
13	同志社大学	190	42
14	立命館大学	242	40
20	関西学院大学	163	34
21	法政大学	143	30
24	関西大学	135	19
26	立教大学	121	18
	総計	7,653	2,049

60歳の

新入会員

小林 清宣



今春、漸く入会いたしました。昭和50年に卒業し、出光興産に入社。以来、典型的な会社人間として、会社中心の生活を

続けてきました。しかし、50歳を超えた頃、来し方を振り返る余裕も出てきて、自分のこれから考えた時、故郷や社会等との係わりあいの少なさに、愕然としたことが思い出されます。

それから、少しずつ、三条高校(新潟)の東京在任者と会う機会を設定したり、郷人会にも顔を

出すようにしたりしてきています。しかし、法政大学に関しては、吉川ゼ

教育界の現状と課題

本澤 満 (昭和61年政治学科卒)



今回、同窓会報の原稿を執筆する機会を頂き、感謝申し上げます。関係の皆様には日頃、法政大学法学部同窓会の運営を

任せていただき、心苦しく感じたりおりましたので、微力ながらお役に立てればとの思いです。

現在、学校法人の高等学校で教頭職についておりますが、本校勤務は3年目であり、法政大学を卒業し、公立高等学校の教育公務員として20年以上勤務いたしております。その間、高校野球の監督、生徒指導部長としての分掌業務、社会科での教科指導、クラス

さて、現在の教育界の問題は非常に奥深いものがあります。確かに日本は少子化ではあります。が、高校生の場合、特定の学部への進学希望者はむしろ増加しています。伝統校が生徒募集や進学実績で苦戦を強いられ、中、時代や社会を教育界も敏感に感じ取る必要があるのだと思います。また、携帯電話の普及は、教育界に大きな影響を与えました。声ではなく、自書でもない活字や絵で会話をし、ましてやゲームのように簡単にリセットできることが、人間同士の関係を時として希薄にしています。主語のない言葉、助詞のない文章、述語の伴わない論文。国語力の低下とともに、崩れていく人間関係もありません。確かに携帯電話は非常に便利です。要は使う人間の問題ではないでしょうか。ここに教育界の原点があります。

教授会執行部との懇親会開催

組織委員長 柳田正義

平成二五年六月一日、四ツ谷駅前スクワ

堀理事の司会のもと懇親会が開始されました。始めに金子会長から挨拶があり、法学部長から新執行部のメンバーのご紹介があり、それぞれご挨拶をいただきました。執行部からは広瀬克哉

法学部長、細川保教授会主任、椋川(とちかわ)

泰史教授会副主任、北尾秀次学務課法学部担当主任の四名がご出席され、

当会からは、金子会長、小野瀬副理事長を始め一

四名の理事が出席されました。

その後、各委員会の委員長による活動状況の報告がなされ、齊藤事務局長から当会の新体制についての説明があった後、意見交換会の場となりました。



執行部側から、当会が学生の為に積極的に活動している点を評価すると共に今後ともこの面での協力関係を築いてゆきたいとの発言がありました。当会からは同窓会という組織が学生達に対して、どのようなサポート

した。

今年度の理事会では、今後の同窓会の活動のあり方について、より一層の充実・進化を図るべく、議論を深めつつあります。

その中心的なテーマは、当同窓会の委員会活動のあり方を変革することです。会員及び理事の方々が、各委員会の活動に積極的に参加して頂き、そこでの意見交換や議論を通じて、様々な意見やプランを当同窓会の運営に反映し易くすることを目指しています。

現在、そのための対応として、当同窓会の会則、運営規程等の改正作業を総務委員会検討中であり、近々理事会でも検討することになる見込みです。

是非、会員・理事の皆様のご協力を賜りたいと存じます。

また、当同窓会も他の同窓会と同様、若手会員の増加、活動の促進を図ること、ホームページの活用を推進すること等が喫緊の重要課題であることは理事会における共通認識とみられます。これらの課題についても検討を進めたいと考えています。

彩の国 埼玉大会

第21回法政大学 全国卒業生の集い

同窓会理事 司代隆之



パレスホテル大宮に於いて9月7日(土)、記念式典、記念講演、懇親会が行われました。

記念式典は、大会会長桑野秀光校友連合会会長、山口泰男大会実行委員長、千葉大一法政大学後

援会長からの祝辞があり、井橋吉一大会副実行委員長からの閉会宣言で終了しました。

記念イベントとして、田中優子法政大学社会学部長から「未来社会のための江戸学」の記念講演がありました。

特別講演は、山本浩法政大スポーツ健康学部長から「スポーツ時代を読み取る」と題した講演がありました。

引き続き、埼玉県久喜市の国指定重要無形文化財である鷹宮神社の「土師一流・催馬楽神楽」が披露されました。大太鼓、小太鼓、笛、大拍子の囃子にのって、舞人が神楽歌や催馬楽を詠唱し

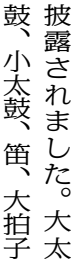
田清おもてなし隊隊長の挨拶、大井昌彦大会実行委員長から来賓者の紹介、増田壽男法政大学総

援会長からの祝辞があり、井橋吉一大会副実行委員長からの閉会宣言で終了しました。

記念イベントとして、田中優子法政大学社会学部長から「未来社会のための江戸学」の記念講演がありました。

特別講演は、山本浩法政大スポーツ健康学部長から「スポーツ時代を読み取る」と題した講演がありました。

引き続き、埼玉県久喜市の国指定重要無形文化財である鷹宮神社の「土師一流・催馬楽神楽」が披露されました。大太鼓、小太鼓、笛、大拍子の囃子にのって、舞人が神楽歌や催馬楽を詠唱し



写真、校友連合会から提供を受けました。

理事会 だより

事務局長 齊藤友嘉

理事会は、平成二五年度も、概ね一か月に一回のペースで開催してまい

す。

今年度の理事会では、今後の同窓会の活動のあり方について、より一層の充実・進化を図るべく、議論を深めつつあります。

その中心的なテーマは、当同窓会の委員会活動のあり方を変革することです。会員及び理事の方々が、各委員会の活動に積極的に参加して頂き、そこでの意見交換や議論を通じて、様々な意見やプランを当同窓会の運営に反映し易くすることを目指しています。

現在、そのための対応として、当同窓会の会則、運営規程等の改正作業を総務委員会検討中であり、近々理事会でも検討することになる見込みです。

是非、会員・理事の皆様のご協力を賜りたいと存じます。

また、当同窓会も他の同窓会と同様、若手会員の増加、活動の促進を図ること、ホームページの活用を推進すること等が喫緊の重要課題であることは理事会における共通認識とみられます。これらの課題についても検討を進めたいと考えています。

写真、校友連合会から提供を受けました。

中村司法書士事務所 中村眞一

柳田正義 委員長

大塚孝子 大塚孝子法律事務所

田中豊式 田中社会保険労務士事務所

山崎雅彦 山崎雅彦法律事務所

齊藤友嘉 齊藤友嘉法律事務所

石川公也 社会福祉法人シルヴァーウイング

栗田靖巳 遺言コンサルタント/行政書士

法政大学法学部同窓会事務局

野球応援

OBの方々との交流

法律学科二年 田上 純也

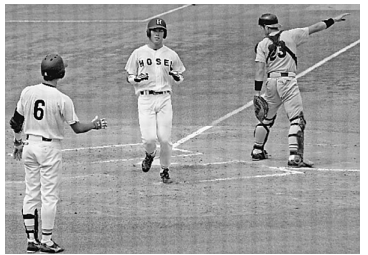


野球観戦における一番の醍醐味は球場の観客達に連帯感が生じ、皆が一丸となって応援をする事ができる点にあると思います。六大学の野球観戦では、ゲーム中に応援団が観客席を盛り上げてくれ、我々も常に応援している状態なので楽しく、決して飽きることはありません。この時は、テレビでの野球観戦では決して味わうことの出来



九月二十九日の対慶應戦では、齋藤 秀之選手がランニングホームランを打ってくれ、試合にも勝利したので観客席は非常に盛り上がりました。やはり、私が野球観戦をして思うことは野球部の方や応援団の方々など何か一つの物事に熱中すること出来る人は素晴らしいということだと思います。そのことを、今回の野球観戦で再確認することが出来ました。野球観戦に誘って頂いたことにより、楽しい時間を過ごすことができました。

また、野球観戦が終わった後のOBの方々との交流会では、先ほどの野球の余韻に浸りながら法政大学の先輩であり、人生の先輩でもある方々と楽しみながら食事をする

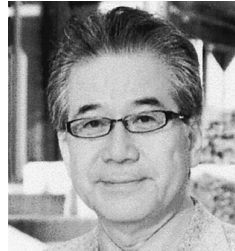


9月29日対慶大戦、齋藤秀之選手の3ランで大量得点

ます。この様なOBの設けて頂いて誠にありがとうございます。方々と触れ合える機会を たく思います。

萩谷先生の講演会開催

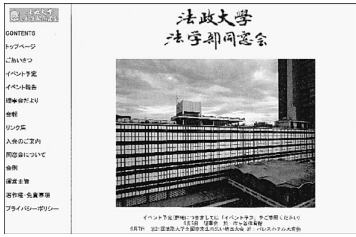
組織委員長 柳田 正義



平成二五年六月一七日、第三回目となる「法学部在學生と卒業生の集い」を開催しました。今回は、法学部の萩谷順先生に、八月後半の参議院選挙を踏まえ「瀬戸際の日本と参議院選挙」という演題で講演をお願いしました。講演内容は、教育に携わられている立場から、法政の学生がいかに優秀であるかというお話があり、参加した学生は大いに励まされ且つ勇気づけられたことと思います。また、ジャーナリストとしての立場からの日本の政治・経済状況の分析は大変分かり易く、日本という国の置かれた状況を改めて認識させられました。先生の日本の行く末を見据えたお話しに魅せられて、一時間半の講演があっという間に終了した感がありました。萩谷先生には、その後スタッフクラブにて開かれた懇親会にもご出席戴

ホームページをリニューアルします

同窓会理事・HP担当 岸岡正比古



法政大学法学部ホームページは、同窓会の設立の趣旨を生かす場として開設され、同窓会の動静を逐一報告し、その発展に資する役割を担ってきました。



開設当初は画面構成、内容とも標準的なものとして問題はありませんでした。そこで、今般、ホームページをリニューアルす

したが、その後の情報機器の発達により、いわゆる「スマホ」などにも対応しなければならなくなってきました。また、掲載できる情報量も今日から見てあまりにも貧弱な状態となっております。そこで、今般、ホームページをリニューアルす

利用して小回りの利くようにしたいと考えております。また設計段階ではありますが、更新の折には会員先輩諸氏のご高覧を仰ぎ、広く交流の場としてご活用頂きたく、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

地引き網大会に参加

大崎 光雄(昭和四二年卒)



鎌倉法友会主催の恒例の地引き網大会が五月二十八日にご覧いただきました。三年越しのご案内頂き、やっと参加することができました。

当日、私は所用で一時間ほど遅れて鵜沼海岸の会場に着きましたが、すでに皆さんで網引きが始まっております。網が勢いよく引き上げられていくと



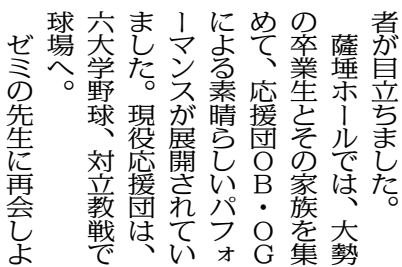
いろいろな魚が網の中で跳ねたり踊ったりして、お孫さん達が笑顔で「キャーキャー」といながら楽しんでいました。鎌倉の幹事長佐々木さんより「先ずどうぞ」とテント内の接待場に案内され、江ノ島を望みながら冷たいビールを頂き、私は初参加でありながらいつの間にか我が同窓会のメンバーと共に特等席に陣取っておりました。その席のすぐ傍らで鎌倉の御夫人方が捕れた魚を捌いて「お刺身をどうぞ」、その横で天ぷらを揚げてまた「どうぞ」と、食べて飲んで「ワイワイガヤガヤ」といつもの調子でご機嫌となり、大満足のひと時でした。帰りには美味しい鎌倉野菜をお土産に頂いた

法政フェア 卒業生のための大学祭

卒業生やその家族のための大学祭、法政フェア。イン市ヶ谷が9月22日(日)、市ヶ谷キャンパスで開催されました。ミニ



廣瀬教授のゼミ懇



五明教授の回顧談

法政部同窓会理事長の五明公男教授は、本年度限りで退職されるので、授業履修者、学生野球関係者、同窓会関係者、知



下西技研工業株式会社 代表取締役 下西 孝
 本社 〒578-0881 大阪府東大阪市島之内2-4-16
 TEL 072-1966666 FAX 072-1966666
 URL: www.simonec.co.jp
 ◆東京 〒155-8511 東京都港区西新橋1-19-13
 TEL 03-35525191 FAX 03-35525177
 *昭和44年法政部卒
 マグテック株式会社
 代表取締役 西 孝
 本社 〒570-1081 大阪府東大阪市島之内2-4-16
 TEL 072-1966666 FAX 072-1966666
 URL: www.magtech.co.jp
 ◆工場 〒689-0222 和歌山県岩出市岡田199-5-1
 TEL 073361631 FAX 0733614743
 日本中国友好協会
 元法政大学理事 法政部同窓会理事
 理事長 田中義教
 谷順教授、河野康子教授が教室でゼミ生と討論や懇談をされていました。卒業生には、先生から時間などの連絡がされていりました。現役応援団は、六大学野球、対立教戦で